

学力については、学校側だけではなくて家庭の協力が必要である。

●早崎氏

沿岸地区（諸浦島、獅子島）のコミュニティ施設の建設計画はないか。

生涯スポーツの振興としてグラウンドゴルフの普及もあるので、高齢者の福祉政策の一環として整備が必要である。

●水永氏

鷹巣校区の学校給食費について、現状は地区の公民館長や子ども育成会等で集金を実施しているようであるが、口座引き落としの自動振替ができないか。

給食費については、金融機関口座を利用してはいるが保護者や学校職員から納入状況について問い合わせがくる。

給食費の管理については、給食センターなのか学校側か担当を明確にし、年度末には収支決算書等を保護者に報告すべきである。

●湯田氏

近年の医学発達で、元気な

高齢者が多くなっているようだが、そうでもないかたもたくさんいるようである。元気な高齢者を育み、自力で元気な生活をしていけるような取り組みの政策をしていただきたい。

●飯尾氏

高齢者世帯で元気でないかたでも、生活環境が変わったり、施設入所等で元気になるかたもたくさんいる。しかしながら、高齢者になると医療との関わり合いを切り離すことはできない。今後、ますます医療費や介護費が必要となるが、ひとりの人間としての尊厳を保ちながら、生きていくことが大事である。

●清原氏

高齢者になってから健康づくりをするのではなく、若いうちから健康に対して意識を持つて生活することが大事である。若いうちから健康志向意識改革が必要であるので、そういう継続的な政策も必要ではないか。

●兒玉氏

基盤整備については、長期

的な展望が必要不可欠である。

文化ホール建設（昭和62年）当時は、議会等の反対意見も多かった。しかしながら、当時建設していなかったら今の時代には建設出来る状況でなかった。

●平下氏

少子高齢化時代であり、働く人が少なくなってきた。長島の第一次産業である就農者が少ないため、ほ場整備が必要である。農業自給力50%を目標にし、労働力の確保が必要であると考える。農業後継者の育成と魅力ある基盤整備事業が必要である。

●水元氏

産業振興については、「やる気のある団体」でないと取り組むことが出来ない。長島町職員として「やる気のある職員」を育てていただきたい。

●早崎氏

漁業経営者に対して、ほ場整備の計画はないか。昨年に引き続き赤潮で被害を受けている。今後も経営状態は悪く

なる一方である。

漁民は、耕作地がないので海の漁場で生計をたてているが、今後は海だけではなく丘にも作物を作り、経営していくべきではないか。町として、耕作地のほ場整備をしていただきたい。

●諏訪氏

町民が行政に頼らないで、自分たちでできるところは実施し、リーダーシップを取れるような人材育成が必要である。

（当日欠席のため文書で提言）

●高野 徹氏

グループホームを運営していると感じるのは「要介護者」の増加です。（自分で動けない人を自宅で介護するのはほとんど不可能のように思います。）「要介護者」の将来的な発生数を推測し、介護行政について、デザイン（ビジョン）を描いていただきたい。

